

平成19年度  
常総市水道事業会計  
決算審査意見書

常総市監査委員



平成20年8月22日

常総市長 長谷川 典子 殿

常総市監査委員 北 村 栄 子

同 中 村 安 雄

平成19年度常総市水道事業会計決算審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき、審査に付された、平成19年度常総市水道事業会計決算について審査したので、次のとおり意見書を提出する。

# 目 次

第1	審 査 の 対 象	1
第2	審 査 の 期 間	1
第3	審 査 の 方 法	1
第4	審 査 の 結 果	1
第5	審 査 の 概 要	1
1	決算報告書	1
	(1) 収益的収入及び支出	1
	(2) 資本的収入及び支出	2
2	損益計算書	3
3	剰余金計算書	4
4	貸借対照表	4
5	事業の実績	4
6	むすび	5

# 平成19年度常総市公営企業会計決算審査意見

## 第1 審査の対象

平成19年度常総市水道事業会計

## 第2 審査の期間

平成20年6月2日から8月18日まで

## 第3 審査の方法

審査に当たっては、決算諸表及び付属書類が関係法令に準拠して作成され、かつ、企業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているか否かを検証するため、関係諸帳簿及び証書類と照合し、決算計数の正確性を精査するとともに、関係職員から説明を求めた。

## 第4 審査の結果

審査に付された決算報告書、損益計算書及び貸借対照表等の決算諸表並びにこれらに関連する付属書類については、いずれも地方公営企業法及び関係法令の規定に基づいて作成されており、その計数は正確であることを認めた。

## 第5 審査の概要

### 1 決算報告書

本年度の予算執行の状況は、次のとおりである。

#### (1) 収益的収入及び支出

##### 【収入】

(仮受消費税込)

区 分	予算現額	決算額	差引増減	収入率	構成比率
	円	円	円	%	%
水道事業収益	1,421,472,000	1,440,269,797	18,797,797	101.3	100.0
営業収益	1,339,430,000	1,351,987,370	12,557,370	100.9	93.9
営業外収益	82,042,000	88,282,427	6,240,427	107.6	6.1

##### 【支出】

(仮払消費税込)

区 分	予算現額	決算額	不用額	執行率	構成比率
	円	円	円	%	%
水道事業費用	1,562,388,000	1,512,394,751	49,993,249	96.8	100.0
営業費用	1,273,096,000	1,227,653,498	45,442,502	96.4	81.2
営業外費用	285,292,000	284,741,253	550,747	99.8	18.8
予備費	4,000,000	0	4,000,000	0.0	0.0

◎ 事業収益

本年度の事業収益決算額は、1,440,269,797円で、営業収益が1,351,987,370円（うち仮受消費税64,309,987円）、営業外収益が88,282,427円（うち仮受消費税745,008円）である。

営業収益は、前年度に比較して28,708,910円（2.2%）の増加である。主な収益は、給水収益である。

営業外収益は、前年度に比較して49,514,084円（127.7%）の増加である。主な収益は、他会計負担金及び他会計補助金である。

◎ 事業費用

本年度の事業費用決算額は、1,512,394,751円で、営業費用が1,227,653,498円（うち仮払消費税33,060,735円）、営業外費用が284,741,253円（うち仮払消費税189,227円）、予備費が0円である。

営業費用は、前年度に比較して20,582,714円（1.7%）の増加である。主な費用は配水及び給水費、総係費及び減価償却費である。

営業外費用は、前年度に比較して8,690,364円（3.0%）の減少である。主な費用は支払利息である。

(2) 資本的収入及び支出

【収入】

(仮受消費税込)

区 分	予算現額	構成比率	決算額	構成比率	予算現額に対する比率	予算現額に対する増減
	円	%	円	%	%	円
資 本 的 収 入	266,648,000	100.0	269,187,166	100.0	101.0	2,539,166
負 担 金	10,448,000	3.9	12,903,802	4.8	123.5	2,455,802
企 業 債	256,200,000	96.1	256,200,000	95.2	100.0	0
固 定 資 産 売 却 代 金	0	0.0	83,364	0.0	0.0	83,364

【支出】

(仮払消費税込)

区 分	予算現額	構成比率	決算額	構成比率	予算現額に対する比率	翌年度繰越額	不用額
	円	%	円	%	%	円	円
資 本 的 支 出	878,480,000	100.0	856,519,445	100.0	97.5	10,048,500	11,912,055
建 設 改 良 費	173,518,000	19.8	153,560,242	17.9	88.5	10,048,500	9,909,258
企 業 債 償 還 金	702,962,000	80.0	702,959,203	82.1	100.0	0	2,797
予 備 費	2,000,000	0.2	0	0.0	0.0	0	2,000,000

◎ 資本的収入

資本的収入の決算額は、269,187,166円（うち仮受消費税3,969円）で、予算現額266,648,000円に対し101.0%の収入率である。内訳は、負担金12,903,802円、企業債256,200,000円、固定資産売却代金83,364円である。

◎ 資本的支出

資本的支出の決算額は、856,519,445円（うち仮払消費税7,312,392円）で、予算現額878,480,000円に対し、97.5%の執行率である。内訳は、建設改良費153,560,242円、企業債償還金702,959,203円、予備費0円である。なお、10,048,500円を地方公営企業法第26条の規定により繰り越した。

建設改良費の主なものは、老朽化による常総市水道事業所改修工事、石下西部浄水場配水ポンプ盤更新工事・天日乾燥床築造工事、県道土浦・境線配水管布設替工事等の設備拡張費137,389,350円、古谷地内配水管布設工事の拡張事業費6,930,000円である。

また、今年度は公営企業経営健全化計画を策定し公的資金補償金免除繰上償還が認められたことにより371,713,484円を繰上償還した。

資本的収入額が資本的支出額に不足する587,332,279円は、過年度損益勘定留保資金、当年度損益勘定留保資金、消費税調整額及び減債積立金で補てんされている。

## 2 損益計算書

収益面（別表1）では、前年度1,298,032,850円であったのに対し、本年度は1,374,567,958円で、76,535,108円（5.9%）の増加である。この内、収益の大部分を占める給水収益は、前年度1,200,622,343円に対し、本年度は1,219,320,150円で、18,697,807円（1.6%）の増加となっている。

費用面（別表1）では、前年度1,446,494,183円であったのに対し、本年度は1,453,386,869円で、6,892,686円（0.5%）の増加である。主なものは、配水及び給水費614,299,675円、減価償却費426,661,141円、支払利息255,009,486円である。また、雑支出のうち、3,024,084円が不納欠損処分金である。

費用を人件費と物件費（別表2）についてみると、人件費については、前年度125,852,503円であったのに対し、本年度は97,126,866円で、28,725,637円（22.8%）減少している。これは、職員が、前年度の15人に対し、本年度は12人と3人減ったためである。物件費等については、前年度1,320,641,680円であったのに対し、本年度は1,356,260,003円で35,618,323円（2.7%）増加している。

収益総合計から費用総合計を差し引いた額はマイナスとなり、その額78,818,911円が当年度純損失となる。

### 3 剰余金計算書

利益剰余金の部は、減債積立金の114,112,000円を自己資本金（組入資本金）に繰り入れたため残高が0円に、利益積立金の86,395,053円を前年度欠損金処理に処分したため残高が0円になった。また、前年度から繰り越された繰越欠損金は38,609,004円で、当年度純損失78,818,911円を加えると当年度未処理欠損金は117,427,915円である。

資本剰余金の部は、本年度発生をみたものは受贈財産評価額307,221円の処分と工事負担金12,289,336円である。したがって、前年度の繰越資本剰余金7,463,502,743円に増加した額を加えることにより、本年度の繰越資本剰余金は7,475,484,858円となる。

### 4 貸借対照表（別表3）

本年度の資産合計は19,335,188,224円となり、その大部分は構築物、機械及び装置等の有形固定資産である。

また、この資産は、企業債7,570,385,663円の借入資本金と出資金等4,205,335,015円の自己資本金により大部分が調達されている。

なお、年度末における資金繰りは、880,838,896円の現金預金を保有している。

### 5 事業の実績

#### (1) 業務実績（別表4）

本年度の業務実績は、年度末の給水戸数17,140戸、給水人口55,019人となり、前年度に比較し、給水戸数で338戸（2.0%）、給水人口で749人（1.4%）それぞれ増加した。

また、年間配水量は5,467,239 $\text{m}^3$ で、前年度に比較して109,024 $\text{m}^3$ （2.0%）増加した。この配水量のうち料金対象の有収水量は5,354,897 $\text{m}^3$ で、前年度に比較して70,393 $\text{m}^3$ （1.3%）増加した。

#### (2) 経営実績（別表5）

本年度の経営実績は、施設利用率は49.8%で前年度を0.9ポイント上回り、有収率については97.9%で前年度を0.7ポイント下回っている。

なお、給水原価及び供給単価については、給水原価が271円41銭、供給単価が227円70銭となり、前年度は46円31銭原価を割っての給水であったが、本年度は43円71銭原価を割っての給水である。

#### (3) 財務状態（別表6）

本年度の財務状態は、固定資産構成比率が95.1%、流動資産構成比率が4.9%であることから、資本が固定化の傾向にあり、資本構成比率が99.5%と大きく、流動比率が1,143.5%とたいへん大きいことから、流動負債の割合が少ないといえる。

また、収益率では、経常収支比率は94.6%で前年度より4.9%上回っており、営業収支比率は107.8%で前年度より0.5%上回っている。

## 6 むすび

以上が、平成19年度常総市水道事業の決算審査の概要である。

本年度の主な事業は、老朽化による常総市水道事務所の改修工事、石下西部浄水場配水ポンプ盤更新工事・天日乾燥床築造工事、県道土浦・境線配水管布設工事、古谷地内配水管布設工事などを施工した。

本年度の業務状況は、給水戸数が338戸増加の17,140戸、給水人口が749人増加の55,019人となっている。

年間配水量は5,467,239 $\text{m}^3$ で、前年度に比較して109,024 $\text{m}^3$ (2.0%)の増、年間有収水量は5,354,897 $\text{m}^3$ で、前年度に比較して70,393 $\text{m}^3$ (1.3%)の増と配水量、有収水量ともに増加している。有収率は0.7ポイント減し97.9%となった。しかし、本市の有収率は合併後90%台を維持しており、今後も漏水調査の徹底、漏水修理の早期実施、老朽配水管の布設替えの実施などにより高水準の率を維持されるよう望むものである。

経営面では、収益については、一般会計からの補助金が40,000,000円、給水収益は前年度に比較して18,697,807円(1.6%)の増となったため、全体で1,374,567,958円と前年度に比較して76,535,108円(5.9%)の増加となった。

一方費用については、人件費や繰上償還により支払い利息が減少したが、減価償却費が増加したため、全体で1,453,386,869円と前年度に比較して6,892,686円(0.5%)の増加となった。この結果収益的収支において、前年度の純損失148,461,333円に続き、本年度も78,818,911円の純損失を生じており、前年度繰越欠損金38,609,004円と合わせた繰越欠損金は117,427,915円となり水道事業の運営にあたるうえで大変厳しい経営状況である。今後、石下東部浄水場の老朽化による改修工事、水道施設の維持管理経費・減価償却費の増大が見込まれるため、収支状況は一段と厳しさを増すことが予想される。

また、有収水量1 $\text{m}^3$ 当りの収益(供給単価)と費用(給水単価)を比較すると本年度は、供給単価227円70銭に対し、給水原価は271円41銭で1 $\text{m}^3$ 当り43円71銭の販売損失を生じている。年間有収水量で見ると5,354,897 $\text{m}^3$ であるので234,062,547円の損失である。“いわゆる逆ザヤ現象”については解消されず、経営安定を図るためには、この供給単価と給水単価における損失を無くす努力が必要である。

景気の回復が見られるとはいえ、水道事業は依然として厳しい状況の中で、給水戸数、給水人口とも微増となっているものの地球環境保全の見地から節水意識の高まりにより節水型社会に移行しており水の需要は、大幅な伸びは期待できない状況にある。

今後の水道事業の運営に当っては、建設改良事業はもとより給配水施設の修繕費などの物件費、企業債償還の増加が見込まれ、厳しい状況が更に続くことが予想されるため、水需要の動向を注視する中で、更なる経費の節減、公平性の観点からも引き続き未収金の回収対策など、効率的な事業運営に努め、市民に対して、安心で安全な水を安定的に供給するという視点のほか、公営企業の基本的原則である常に企業の経済性の発揮と公共の福祉を増進することを踏まえて、健全な経営が図られるよう、より一層の努力を要望するものである。

# 資 料

## 別表 1

## 損益計算書構成比率等比較表

借 方							貸 方						
科 目	金 額		比較増減		構成比率		科 目	金 額		比較増減		構成比率	
	19年度	18年度	金 額	率	19年度	18年度		19年度	18年度	金 額	率	19年度	18年度
配水及び給水費	614,299,675	617,683,058	△ 3,383,383	△ 0.5	42.3	42.7	給 水 収 益	1,219,320,150	1,200,622,343	18,697,807	1.6	88.7	92.5
受託工事費	0	1,150,000	△ 1,150,000	△ 100.0	0.0	0.1	受託工事収益	0	0	0		0.0	0.0
総 係 費	147,682,846	164,372,797	△ 16,689,951	△ 10.2	10.2	11.4	その他の営業収益	68,357,233	59,713,184	8,644,049	14.5	5.0	4.6
減価償却費	426,661,141	377,772,465	48,888,676	12.9	29.3	26.1	受 取 利 息	3,716,823	471,902	3,244,921	687.6	0.3	0.0
資産減耗費	5,949,101	13,386,143	△ 7,437,042	△ 55.6	0.4	0.9	他会計負担金	28,273,156	28,244,377	28,779	0.1	2.0	2.2
支払利息	255,009,486	265,056,992	△ 10,047,506	△ 3.8	17.5	18.3	他会計補助金	40,000,000	0	40,000,000		2.9	0.0
雑 支 出	3,784,620	7,072,728	△ 3,288,108	△ 46.5	0.3	0.5	雑 収 益	14,900,596	8,981,044	5,919,552	65.9	1.1	0.7
特別損失	0	0	0		0.0	0.0	( 収 益 計 )	1,374,567,958	1,298,032,850	76,535,108	5.9	100.0	100.0
( 費 用 計 )	1,453,386,869	1,446,494,183	6,892,686	0.5	100.0	100.0							
当期純利益							当期純損失	78,818,911	148,461,333	△ 69,642,422	△ 46.9		
合 計	1,453,386,869	1,446,494,183	6,892,686	0.5			合 計	1,453,386,869	1,446,494,183	6,892,686	0.5		

## 別表 2

## 費用使途別比較表

科目	人件費					物件費及びその他の経費					合計				
	金額		増減率	構成比率		金額		増減率	構成比率		金額		増減率	構成比率	
	19年度	18年度		19年度	18年度	19年度	18年度		19年度	18年度	19年度	18年度		19年度	18年度
配水及び給水費	円 44,565,238	円 56,291,952	% △ 20.8	% 3.1	% 3.9	円 569,734,437	円 561,391,106	% 1.5	% 39.2	% 38.8	円 614,299,675	円 617,683,058	% △ 0.5	% 42.3	% 42.7
受託工事費	0	0	-	-	-	0	1,150,000	△ 100.0		0.1	0	1,150,000	△ 100.0		0.1
総係費	52,561,628	69,560,551	△ 24.4	3.6	4.8	95,121,218	94,812,246	0.3	6.5	6.6	147,682,846	164,372,797	△ 10.2	10.2	11.4
減価償却費	0	0	-	-	-	426,661,141	377,772,465	12.9	29.4	26.1	426,661,141	377,772,465	12.9	29.3	26.1
資産減耗費	0	0	-	-	-	5,949,101	13,386,143	△ 55.6	0.4	0.9	5,949,101	13,386,143	△ 55.6	0.4	0.9
その他の営業費用	0	0	-	-	-	0	0	-	-	-	0	0	-	-	-
支払利息	0	0	-	-	-	255,009,486	265,056,992	△ 3.8	17.5	18.3	255,009,486	265,056,992	△ 3.8	17.5	18.3
雑支出	0	0	-	-	-	3,784,620	7,072,728	△ 46.5	0.3	0.5	3,784,620	7,072,728	△ 46.5	0.3	0.5
特別損失	0	0	-	-	-	0	0	0			0	0	0		
費用合計	97,126,866	125,852,503	△ 22.8	6.7	8.7	1,356,260,003	1,320,641,680	2.7	93.3	91.3	1,453,386,869	1,446,494,183	0.5	100.0	100.0

別表 3

## 貸借対照表構成比率等比較表

借 方							貸 方						
科 目	金 額		比 較 増 減		構 成 比 率		科 目	金 額		比 較 増 減		構 成 比 率	
	19年度	18年度	金額	率	19年度	18年度		19年度	18年度	金額	率	19年度	18年度
【固定資産】	18,391,552,615	18,678,301,623	△ 286,749,008	△ 1.5	95.1	94.0	【固定負債】	23,534,000	23,534,000	0	0	0.1	0.1
(有形固定資産)	18,390,644,086	18,677,393,094	△ 286,749,008	△ 1.5	95.1	94.0	(引当金)	23,534,000	23,534,000	0	0	0.1	0.1
イ土地	543,950,160	543,950,160	0	0.0	2.8	2.8	【流動負債】	82,520,535	108,113,704	△ 25,593,169	△ 23.7	0.4	0.5
ロ建物	533,019,461	531,288,915	1,730,546	0.3	2.8	2.7	(未払金)	60,543,036	79,247,066	△ 18,704,030	△ 23.6	0.3	0.4
ハ構築物	15,003,610,037	15,227,322,748	△ 223,712,711	△ 1.5	77.6	76.6	(前受金)	0	0	0	0	0	0
ニ機械及び装置	2,125,116,957	2,103,019,608	22,097,349	1.1	11.0	10.6	(一時借入金)	0	0	0	0	0	0
ホ車両及び運搬具	5,795,330	6,607,122	△ 811,792	△ 12.3	0.0	0.0	(その他流動負債)	21,977,499	28,866,638	△ 6,889,139	△ 23.9	0.1	0.1
ヘ工具器具及び備品	3,121,681	3,334,081	△ 212,400	△ 6.4	0.0	0.0	【資本金】	11,775,720,678	12,108,367,881	△ 332,647,203	△ 2.7	60.9	60.9
ト建設仮勘定	176,030,460	261,870,460	△ 85,840,000	△ 32.8	0.9	1.3	(自己資本金)	4,205,335,015	4,091,223,015	114,112,000	2.8	21.7	20.6
(無形固定資産)	908,529	908,529	0	0.0	0.0	0.0	(借入資本金)	7,570,385,663	8,017,144,866	△ 446,759,203	△ 5.6	39.2	40.3
イ電話加入権	908,529	908,529	0	0.0	0.0	0.0	イ企業債	7,570,385,663	8,017,144,866	△ 446,759,203	△ 5.6	39.2	40.3
【流動資産】	943,635,609	1,196,075,769	△ 252,440,160	△ 21.1	4.9	6.0	【剰余金】	7,453,413,011	7,634,361,807	△ 180,948,796	△ 2.4	38.6	38.5
(現金預金)	880,838,896	1,131,457,382	△ 250,618,486	△ 22.2	4.6	5.7	(資本剰余金)	7,475,484,858	7,463,502,743	11,982,115	0.2	38.7	37.6
(未収金)	62,796,713	64,618,387	△ 1,821,674	△ 2.8	0.3	0.3	イ受贈財産評価額	64,822,433	65,129,654	△ 307,221	△ 0.5	0.3	0.3
(前払金)	0	0	0	0	0	0	ロ工事負担金	2,898,494,922	2,886,205,586	12,289,336	0.4	15.0	14.5
(その他の流動資産)	0	0	0	0	0	0	ハ国庫補助金	4,242,265,552	4,242,265,552	0	0	22.0	21.4
							ニ県補助金	269,901,951	269,901,951	0	0	1.4	1.4
							(利益剰余金)	△ 22,071,847	170,859,064	△ 192,930,911	△ 112.9	△ 0.1	0.9
							イ減債積立金	0	114,112,000	△ 114,112,000	△ 100.0	0	0.6
							ロ利益積立金	0	86,395,053	△ 86,395,053	△ 100.0	0	0.4
							ハ建設改良積立金	95,356,068	95,356,068	0	0	0.5	0.5
							ニ当年度未処分利益剰余金・未処理欠損金	△ 117,427,915	△ 125,004,057	7,576,142	6.1	△ 0.6	△ 0.6
資産合計	19,335,188,224	19,874,377,392	△ 539,189,168	△ 2.7	100.0	100.0	負債・資本合計	19,335,188,224	19,874,377,392	△ 539,189,168	△ 2.7	100.0	100.0

別表 4

## 業 務 実 績 表

項 目	単位	19年度	18年度	前年度との 比較増減	前年度に 対する比率	備 考
計 画 給 水 人 口	人	75,300	75,300	0	100.0	
現 在 給 水 人 口	人	55,019	54,270	749	101.4	
給 水 戸 数	戸	17,140	16,802	338	102.0	
配 水 量	m <sup>3</sup>	5,467,239	5,358,215	109,024	102.0	
有 収 水 量	m <sup>3</sup>	5,354,897	5,284,504	70,393	101.3	
有 収 率	%	97.9	98.6	△ 0.7	99.3	$\frac{\text{有収水量 } 5,354,897}{\text{配水量 } 5,467,239} \times 100$
給 水 原 価	円	271.41	273.51	△ 2.10	99.2	$\frac{\text{費用合計 } 1,453,386,869 - \text{受託工事費 } 0}{\text{有収水量 } 5,354,897}$
供 給 単 価	円	227.70	227.20	0.50	100.2	$\frac{\text{給水収益 } 1,219,320,150}{\text{有収水量 } 5,354,897}$
職 員 数	人	12	15	△ 3	80.0	

※ 比率は、小数点以下第2位を四捨五入し第1位までとしたもの。

別表 5

## 經 營 分 析 表

項 目		算 出 基 礎	19 年 度		18 年 度	
			基 礎 数 値	比 率	基 礎 数 値	比 率
負 荷 率	(%)	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日最大配水量}} \times 100$	$\frac{14,938}{17,144} \times 100$	87.1	$\frac{14,680}{17,288} \times 100$	84.9
施 設 利 用 率	(%)	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$	$\frac{14,938}{30,000} \times 100$	49.8	$\frac{14,680}{30,000} \times 100$	48.9
最 大 稼 働 率	(%)	$\frac{\text{1日最大配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$	$\frac{17,144}{30,000} \times 100$	57.1	$\frac{17,288}{30,000} \times 100$	57.6
有 収 率	(%)	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	$\frac{5,354,897}{5,467,239} \times 100$	97.9	$\frac{5,284,504}{5,358,215} \times 100$	98.6
配 水 管 使 用 効 率	( $\text{m}^3 / \text{m}$ )	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$	$\frac{5,467,239}{619,770}$	8.8	$\frac{5,358,215}{619,770}$	8.6
固 定 資 産 使 用 効 率	( $\text{m}^3 / \text{千円}$ )	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産}}$	$\frac{5,467,239}{18,390,644}$	0.3	$\frac{5,358,215}{18,677,393}$	0.3
供 給 単 価	( $\text{円} / \text{m}^3$ )	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	$\frac{1,219,320,150}{5,354,897}$	227.70	$\frac{1,200,622,343}{5,284,504}$	227.20
給 水 原 価	( $\text{円} / \text{m}^3$ )	$\frac{\text{費用合計} - \text{受託工事費}}{\text{年間総有収水量}}$	$\frac{1,453,386,869}{5,354,897}$	271.41	$\frac{1,445,344,183}{5,284,504}$	273.51
職 員 1 人 当 り 給 水 人 口	(人)	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定所属職員}}$	$\frac{55,019}{12}$	4,585	$\frac{54,270}{15}$	3,618
職 員 1 人 当 り 給 水 量	( $\text{m}^3$ )	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定所属職員}}$	$\frac{5,354,897}{12}$	446,241	$\frac{5,284,504}{15}$	352,300
職 員 1 人 当 り 営 業 収 益	(千円)	$\frac{\text{営 業 収 益}}{\text{損益勘定所属職員}}$	$\frac{1,287,677}{12}$	107,306	$\frac{1,260,336}{15}$	84,022

別表 6

## 財 務 分 析 表

項 目	算 出 基 礎	19 年 度		18 年 度	
			%		%
固 定 資 産 構 成 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100$	$\frac{18,391,552,615}{19,335,188,224} \times 100$	95.1	$\frac{18,678,301,623}{19,874,377,392} \times 100$	94.0
流 動 資 産 構 成 比 率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}} \times 100$	$\frac{943,635,609}{19,335,188,224} \times 100$	4.9	$\frac{1,196,075,769}{19,874,377,392} \times 100$	6.0
自 己 資 本 構 成 比 率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	$\frac{11,658,748,026}{19,335,188,224} \times 100$	60.3	$\frac{11,725,584,822}{19,874,377,392} \times 100$	59.0
自 己 資 本 金 構 成 比 率	$\frac{\text{自己資本金}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	$\frac{4,205,335,015}{19,335,188,224} \times 100$	21.7	$\frac{4,091,223,015}{19,874,377,392} \times 100$	20.6
資 本 構 成 比 率	$\frac{\text{資本合計}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	$\frac{19,229,133,689}{19,335,188,224} \times 100$	99.5	$\frac{19,742,729,688}{19,874,377,392} \times 100$	99.3
固 定 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	$\frac{18,391,552,615}{11,658,748,026} \times 100$	157.7	$\frac{18,678,301,623}{11,725,584,822} \times 100$	159.3
固 定 資 産 対 長 期 資 本 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{資本合計}} \times 100$	$\frac{18,391,552,615}{19,252,667,689} \times 100$	95.5	$\frac{18,678,301,623}{19,766,263,688} \times 100$	94.5
流 動 比 率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	$\frac{943,635,609}{82,520,535} \times 100$	1,143.5	$\frac{1,196,075,769}{108,113,704} \times 100$	1,106.3
経 常 収 支 比 率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	$\frac{1,374,567,958}{1,453,386,869} \times 100$	94.6	$\frac{1,298,032,850}{1,446,494,183} \times 100$	89.7
営 業 収 支 比 率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$	$\frac{1,287,677,383}{1,194,592,763} \times 100$	107.8	$\frac{1,260,335,527}{1,174,364,463} \times 100$	107.3